

# チャレンジ品目の振興～大和野菜

## 要約

大和野菜増産モデルで設置したモデル圃を活用し、大和まな等、大和野菜の生産拡大と販路開拓に取り組んだ。また、強風や積雪によるパイプハウス損壊の対策として、既存ハウスの補強やストロングパイプの使用を啓発した。

大和寒熟ほうれん草では、安定生産の面から複数の品種の指定が必要なため、有望品種の現地実証を行った。

## 現状(背景)と課題

(現状)

- ・大和まな栽培面積 1. 6ha
- ・首都圏出荷体制 未整備
- ・強風、積雪対策強化  
ハウス増加棟数 —
- ・寒熟ほうれん草品種数 2品種



## 目標

- ・大和まな栽培面積 2. 0ha
- ・首都圏出荷体制 1ルート
- ・強風、積雪対策強化  
ハウス増加棟数 10棟増
- ・寒熟ほうれん草品種数 2品種検索

## 活動内容

- ・対象：大和野菜生産者、JA 各ほうれん草部会
- ・大和野菜：モデル圃等の定期巡回による栽培指導
- ・首都圏出荷：生産者と運送業者とのマッチングによる出荷ルートの構築
- ・ハウスの風雪害対策：既存ハウスの補強方法の説明、新設時のストロングパイプの導入推進
- ・寒熟ほうれん草：指定品種候補を生産者圃場で比較試験

## 成果

- ・大和まな栽培面積 1. 9ha
- ・首都圏出荷体制 2ルート
- ・強風、積雪対策強化ハウス増加棟数 25棟増
- ・寒熟ほうれん草品種数 2品種検索



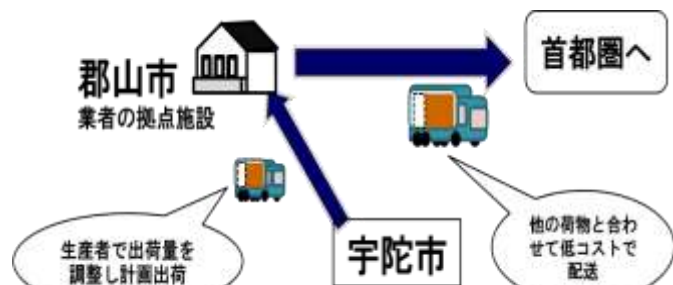
宇陀市に設置されたモデル圃・パイプハウス12棟(17a)



モデル事業圃場の生育確認



生産者、運送業者等によるマッチング会



マッチングにより整備された首都圏出荷へのルート



クロスバーによる補強



生産現場での寒熟ほうれん草の糖度調査

### 普及活動のポイント

- ・モデル圃の運営、ハウスの補強及び寒熟ほうれん草品種比較については、指導対象者や指導内容を明確にして現地指導を実施。
- ・農業法人や大規模生産者の契約販売において課題となっている輸送コストの低減について、県・普及組織が連携し、関心を示す運送業者を探すとともにマッチングから契約までを支援。

### 対象の変化

- ・流通のマッチングを通して、農業法人どうしのつながりが密になった。

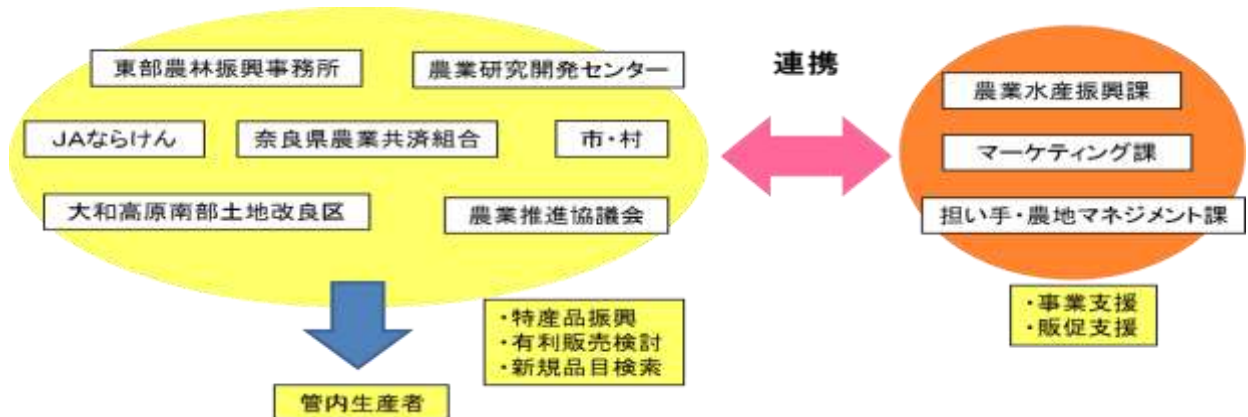
### 対象者からのコメント

- ・県事業の関係もあり、今回、県・普及組織に対して首都圏出荷について運送業者と色々相談できる機会をいただき、首都圏への安価な運送契約が締結することができた。(農業法人)

### これからの活動ビジョン

- ① 大和野菜：モデル圃の安定した生産・出荷を支援し、モデルとしての波及と生産拡大を目指す。
- ② 首都圏出荷：生産者個々の効率良い集荷、運送ルート皆や市による輸送コスト低減を目指す。
- ③ ハウスの風雪害対策：既存ハウスの補強、新設でのストロングパイプの導入啓発を継続。
- ④ 寒熟ほうれん草：有望品種の提案、現地試験の継続

### 活動体制



東部農林振興事務所農業普及課  
 担当：農産物ブランド推進係 神川、安川  
 大和野菜増産モデル事業